

富岡地域づくり 協議会だより



第18号
平成31年4月30日
広 報 委 員 会
<http://www.town-tomioka.click/>

富岡地区ウォークラリーが開催されました



3月9日（土）8時より、富岡まちづくりセンターの第3駐車場を起点及び終点にウォークラリーが開催されました。本年も430名程の参加を得て、盛会裏に実施されました。市長及びトコロン等に見送られて、各コースの健脚がスタートしました。主体者は、この日に参加いただき、具体的にコースを完歩いただいた参加者の皆様ですが、その様子等について、過去4回の広報や本号の写真等からお読みとり、またお汲みとりいただければと存じます。

本ウォークラリーが今回で5回目を数えることにあたり、今までとは視点・視座・指標を代えて、今回はその準備等について紹介したいと思えます。

① 事前の数回の会議

前回の参加者に書いていただいた感想等を基に、数回の会議を設けます。代表者・実行委員・スタッフ・ボランティア等と表現は違えど、大事なメンバーであり、共通理解と共通行動が求められます。この会議での議論がこの事業の充実に欠かせないものとなります。

② 参加者募集用の案内チラシの作成

参加者の募集期間から逆算して、このチラシの各戸への配布期日を設定します。これに間に合うように印刷を依頼することになります。この時点で、コースや実施期日の確認や協賛企業等の募集は済んでいることとなります。他の事業の実施等と重なって慌ただしいこともあります。



③ コースの点検及び清掃

チラシ作成に伴って、その事前にはばかりでなく、折にふれコースを実践したり、点検したり、目視したりが必要にせまられることがあります。道路工事や建造物の増加及び撤去、道路標識の設置及び移動等に伴い、その環境や状況が変わった場合がこれにあたります。尚、ウォークラリー実施の数日前に、

地域環境部会中心にコースの清掃が行なわれています。

④ 前日及び当日の準備

ア) 会場設営（テント、放送器具、横断幕、のぼり旗等）

会場にテントや長机・いす等を運搬します。放送器具の運搬や電気系統の設定等も重要な準備になります。また、横断幕用のポール設置やのぼり旗用のポール等の用意も見落とせない前日の大事な準備のひとつです。これらは、当日の早朝、すなわち、参加者の受付前に設営します。

イ) コースの確認及び表示・掲示物の貼り付け

念には念を入れ、近々何か変化がなかったか、危険箇所はないか等の最終確認をします。これを行いながら、矢印・トイレ・チェックポイント等の表示及び掲示を行います。表示等の掲示にふさわしい場所やものがない場合、持参した掲示板にそれらを貼り付けます。

ウ) 参加者への配布物等の袋詰め

必要なものを長机に並べて、それを透明な袋に詰めるだけの単純な作業です。450～500個を作成することになるので、思った以上に疲れる作業であることが実感できます。この中にはいつの番号札は抽選会で使用することになり、重複しないように気を遣います。

エ) 豚汁・おしるこ等の手配とポップコーン・わたあめの準備

例年、歩き終えた参加者にお召し上がりいただいて好評な豚汁とおしるこの手配もかせない準備のひとつです。不足の事態が起こらないよう配慮も行います。併せて、これも好評なポップコーンとわたあめの機械の点検や材料の発注等もあります。

オ) 抽選会の準備

個人・店舗・企業・団体等よりお寄せいただいた抽選会の景品の準備も怠りなく行います。皆さんに喜んでいただけるよう、景品の充実にも努めています。

ウォークラリー大会写真館

ウォークラリーの準備の様子や大会の様子を写真で紹介します。
沢山の写真があり全ては掲載されておりません。



<編集後記>

「平成最後の〇〇」「平成最後の△△」・・・。

最近よく聞かれたフレーズで、耳慣れた方も多いのではと思います。こうした言い方ができるのは平成が終わることが予測できることが求められます。この予測できるということが至って大事なことになります。天皇存命中に皇位が継承されるという、専らではない状況下で、その期日が明確になっているが故の事象だからです。これが読者の皆様の目に留まる頃には新元号になっていることと思います。

ところで、後継天皇の即位に伴い、ゴールデンウィークが暦どおりでも10連休になると報じられています、文字通りの大型連休であり、ゴールデンウィークでもあります。まとまった休みがとれて嬉しいと思っている人があれば、この間に定期的な仕事や予定が入ってしまってあまり芳しくないと思っている人もいるとのことでした。読者の皆様にとってはいかがでしょうか。

さて、本広報紙も平成最後の発行になります。ご案内の様に、今年度当初の第15号より印刷屋さんに依頼しての印刷に代わっていて、手ずからプリンターにて印刷していたものとは様変わりしています。どちらもそのよさが活かされていると思うのですが、いかがでしょうか。

ちなみに今は、新元号第1号の発行に向け、心新たにしているところです。読者の皆様をはじめ、関係各位の皆様の広汎なお知恵も拝借できればと思います。

改めまして、この期に紙面をお借りして、富岡地域づくり協議会に対しまして今まで以上にご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願いいたします。